

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

- ① 有収水量と有収率の推移
- ② 下水道使用料の単価表
- ③ 下水道使用料調定

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

- ① 受益者負担金・分担金の額
- ② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

(3) 水洗化の促進

- ① 融資制度
- ② 融資の状況

(4) 私道への公共下水道布設制度

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

① 有収水量と有収率の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
汚水処理水量(千 m^3)	28,030	29,774	28,631	27,001	27,963
有収水量(千 m^3)	23,606	23,983	24,042	23,954	24,068
有収率(%)	84.2	80.6	84.0	88.7	86.1

② 下水道使用料の単価表

(平成20年4月1日改定)

区分	基本使用料 (1か月につき)	従量使用料 (1か月につき)	
		従量区分	単価
一般汚水	10 m^3 まで 1,260円	10 m^3 を超え 20 m^3 まで	1 m^3 につき 155円
		20 m^3 を超え 50 m^3 まで	1 m^3 につき 176円
		50 m^3 を超え 100 m^3 まで	1 m^3 につき 196円
		100 m^3 を超え 200 m^3 まで	1 m^3 につき 238円
		200 m^3 を超え 300 m^3 まで	1 m^3 につき 270円
		300 m^3 を超え 500 m^3 まで	1 m^3 につき 290円
		500 m^3 を超え 1000 m^3 まで	1 m^3 につき 293円
		1000 m^3 を超える分	1 m^3 につき 296円
公衆浴場汚水	10 m^3 まで 1,260円	10 m^3 を超える分	1 m^3 につき 10円

※ 従量使用料は、従量使用料欄の水量の区分に従い、使用水量をそれぞれの区分ごとに分割して算出した額の合計額とする

③ 下水道使用料調定

年月		内訳	調定	収入額	未収累計額
令和5年	4月	件数(件)	58,246	58	58,188
		金額(円)	373,511,664	87,021	373,424,643
5月		件数(件)	54,040	46,906	65,322
		金額(円)	400,398,322	309,084,794	464,738,171
6月		件数(件)	58,462	53,825	69,959
		金額(円)	385,089,291	385,971,807	463,855,655
7月		件数(件)	54,130	55,235	68,854
		金額(円)	404,932,917	374,364,277	494,424,295
8月		件数(件)	58,547	53,069	74,332
		金額(円)	391,836,532	407,576,681	478,684,146
9月		件数(件)	54,116	59,098	69,350
		金額(円)	403,097,881	379,618,555	502,163,472
10月		件数(件)	58,549	54,222	73,677
		金額(円)	383,584,418	414,983,524	470,764,366
11月		件数(件)	54,263	57,183	70,757
		金額(円)	401,701,179	373,004,471	499,461,074
12月		件数(件)	58,522	53,302	75,977
		金額(円)	385,884,798	402,732,045	482,613,827
令和6年	1月	件数(件)	54,153	57,388	72,742
		金額(円)	408,170,226	382,747,428	508,036,625
2月		件数(件)	58,495	54,120	77,117
		金額(円)	385,283,426	363,198,108	530,121,943
3月		件数(件)	55,333	59,554	72,896
		金額(円)	394,916,525	427,826,643	497,211,825
令和5年度		件数(件) (対前年度比%)	676,856 (101.6)	603,960 (101.6)	72,896 (101.4)
		金額(円) (対前年度比%)	4,718,407,179 (100.8)	4,221,195,354 (100.5)	497,211,825 (103.2)

令和4年度	件数(件) (対前年度比%)	666,516 (101.8)	594,630 (101.8)	71,886 (102.3)
	金額(円) (対前年度比%)	4,682,554,975 (100.0)	4,200,638,355 (100.0)	481,916,620 (99.6)
令和3年度	件数(件) (対前年度比%)	654,605 (101.7)	584,330 (101.5)	70,275 (103.7)
	金額(円) (対前年度比%)	4,684,245,121 (100.7)	4,200,511,990 (100.8)	483,733,131 (99.7)
令和2年度	件数(件) (対前年度比%)	643,392 (101.7)	575,619 (102.0)	67,773 (99.3)
	金額(円) (対前年度比%)	4,653,883,782 (101.3)	4,168,455,481 (101.9)	485,428,301 (96.1)
令和元年度	件数(件) (対前年度比%)	632,542 (102.5)	564,263 (102.5)	68,279 (102.4)
	金額(円) (対前年度比%)	4,594,914,518 (100.9)	4,089,653,392 (100.8)	505,261,126 (101.9)

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

「受益者負担金・分担金制度」は、下水道整備により利益を受ける地域の皆様に、土地の面積に応じて建設費用の一部を負担していただく制度です。

① 受益者負担金・分担金の額

下水道供用開始区域内の土地の面積に1㎡当たり171円を乗じて得た額

② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

・ 受益者負担金（旧久留米地域、三潴町、北野町 ※令和2年度以降は田主丸町、城島町含む）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和5年度	58,053,820	55,639,960	95.84
令和4年度	97,835,890	95,582,770	97.70
令和3年度	80,541,720	78,528,890	97.50
令和2年度	74,265,990	72,230,150	97.26
令和元年度	61,663,380	59,209,980	96.02

・ 受益者分担金（田主丸町、城島町 ※令和2年度以降は分割納付分のみ）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和5年度	948,790	829,460	87.42
令和4年度	1,644,290	1,494,180	90.87
令和3年度	3,042,690	2,784,780	91.52
令和2年度	4,319,590	3,742,380	86.64
令和元年度	20,171,510	18,875,230	93.57

(3) 水洗化の促進

① 融資制度

水洗便所の改造工事に要する費用を一時に負担することが困難な方のために、融資あっせん制度を設けています。

- ・取扱金融機関 福岡銀行、福岡県信用組合、筑後信用金庫
久留米市農業協同組合（JAくるめ）、
筑邦銀行、西日本シティ銀行、大川信用金庫
にじ農業協同組合（JAにじ）、福岡大城農業協同組合（JA福岡大城）
三潴町農業協同組合（JAみづま）（※いずれも市内の本店及び各支店）
- ・融資金額 13万円～52万円
- ・償還利率 年利1.60%（R5.4.1現在）
- ・償還方法 融資した日の属する月の翌月から毎月均等償還（元利均等償還）
- ・融資の条件
 - 家屋の所有者又はその所有者の同意を得た使用者であること
 - 市内に住所を有し、市内に住んでいる者であること
 - 独立の生計を営む者であること
 - 工事の費用を一時に負担することが困難な者であること
 - 借受けた資金の償還及び利息の支払能力を十分有すること
 - 市税及び下水道受益者負担金を滞納していないこと
 - 身元確実な連帯保証人があること（ただし、市内に住所を有し、独立の生計を営み、かつ、市税及び下水道受益者負担金を滞納していない者）
- ・利子補給 融資あっせん制度を利用した下水道接続工事について、元金と利息を完済後、利子の補給をいたします（元金52万円の利子額が上限となります）。

② 融資の状況

（令和5年度末現在）

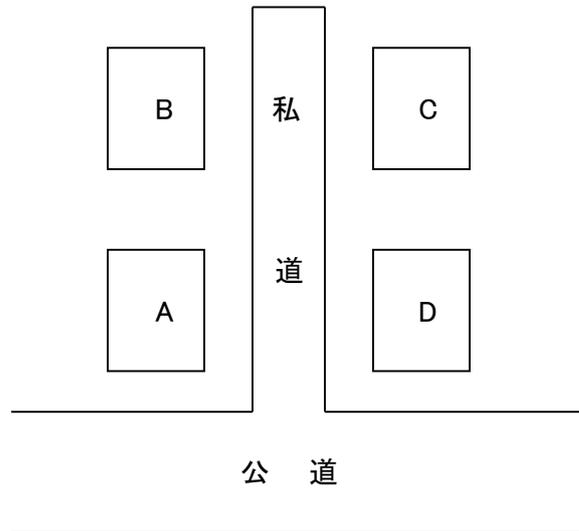
年度	融資件数(件)	融資金額(万円)	確認申請件数(件)	借受率(%)	平均融資額(円)
令和5年度	3	156	1,492	0.2	520,000
令和4年度	8	350	1,744	0.5	437,500
令和3年度	6	294	1,880	0.3	490,000
令和2年度	14	700	1,627	0.9	500,000
令和元年度	13	618	1,817	0.7	475,385

(4) 私道への公共下水道布設制度

私道に面する家屋の下水道利用を促進するため、私道関係者の申請に基づき、一定の要件を備えていれば、市が公共下水道を布設しています。

- ・対象になる私道 生活道路として利用されている道路
- ・主な要件
 1. 道路の一端が公道に接していること
 2. 公道に面した家屋(A及びD)を除いて2戸以上あること。
かつ、その家屋(B及びC)が同一人の所有に属さないこと
 3. 私道の所有者全員が公共下水道の布設を承諾していること

【 イメージ図 】



・私道布設実績 (令和5年度末現在)

年度	私道布設件数	受益棟数
令和元年度以前	1,032	6,628
令和2年度	8	27
令和3年度	10	23
令和4年度	4	14
令和5年度	2	9
累計	1,056	6,701

5 経理統計

(1) 決算状況

- ① 収益的収支年次表
- ② 資本的収支年次表
- ③ 資産・負債・資本対比表

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

- ① 1 m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表
- ② 汚水処理原価構成表

(3) 企業債借入残高状況

(4) 経営分析表

(5) キャッシュ・フロー計算書

5 経理統計

(1) 決算状況

① 収益的収支年次表

科目	令和元年度		令和2年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
下水道事業収益	7,038,493	100.0	7,350,879	100.0	104.4	7,368,452
営業収益	4,613,847	65.6	4,696,310	63.9	101.8	4,783,557
下水道収益	4,228,584	60.1	4,230,931	57.6	100.1	4,258,522
雨水処理負担金	273,360	3.9	297,096	4.0	108.7	388,426
その他営業収益	111,903	1.6	168,283	2.3	150.4	136,609
営業外収益	2,421,589	34.4	2,642,783	36.0	109.1	2,574,957
受取利息及び配当金	7	0.0	8	0.0	114.3	—
他会計補助金	600,577	8.5	576,640	7.9	96.0	455,355
長期前受金戻入	1,815,809	25.8	2,063,043	28.1	113.6	2,116,640
雑収益	5,196	0.1	3,092	0.0	59.5	2,962
特別利益	3,057	0.0	11,786	0.1	385.5	9,938
過年度損益修正益	227	0.0	8,937	0.1	3937.0	6,732
その他特別利益	2,830	0.0	2,849	0.0	100.7	3,206
下水道事業費用	6,373,414	100.0	6,506,988	100.0	102.1	6,603,385
営業費用	5,461,201	85.7	5,542,326	85.1	101.5	5,779,204
管渠費	510,109	8.0	357,690	5.5	70.1	367,031
ポンプ場費	118,081	1.8	127,161	2.0	107.7	131,604
処理場費	947,197	14.9	978,186	15.0	103.3	1,045,158
雨水施設費	63,897	1.0	90,977	1.4	142.4	173,861
業務費	127,423	2.0	106,941	1.6	83.9	105,105
総係費	113,377	1.8	126,489	1.9	111.6	103,894
減価償却費	3,558,242	55.8	3,696,432	56.8	103.9	3,817,808
資産減耗費	22,875	0.4	58,450	0.9	255.5	34,743
営業外費用	902,124	14.2	843,621	13.0	93.5	820,163
支払利息及び企業債取扱諸費	889,565	14.0	827,207	12.7	93.0	789,240
雑支出	12,559	0.2	16,414	0.3	130.7	30,923
特別損失	10,089	0.1	121,041	1.9	1199.7	4,018
固定資産売却損	—	—	—	—	—	27
減損損失	—	—	—	—	—	—
過年度損益修正損	8,049	0.1	4,530	0.1	56.3	3,267
その他特別損失	2,040	0.0	116,511	1.8	5711.3	724
純利益	665,079	—	843,891	—	126.9	765,067
当年度未処分利益剰余金	949,731	—	848,623	—	89.4	2,278,690

(消費税抜き)

令和3年度		令和4年度			令和5年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	100.2	7,410,764	100.0	100.6	7,493,334	100.0	101.1
65.0	101.9	4,695,282	63.3	98.2	4,708,686	62.8	100.3
57.8	100.7	4,256,984	57.4	100.0	4,289,577	57.2	100.8
5.3	130.7	333,703	4.5	85.9	323,685	4.3	97.0
1.9	81.2	104,595	1.4	76.6	95,424	1.3	91.2
34.9	97.4	2,700,074	36.5	104.9	2,770,460	37.0	102.6
—	皆減	—	—	—	—	—	—
6.2	79.0	506,222	6.9	111.2	556,434	7.4	109.9
28.7	102.6	2,189,789	29.5	103.5	2,211,160	29.5	101.0
0.0	95.8	4,063	0.1	137.2	2,866	0.1	70.5
0.1	84.3	15,408	0.2	155.0	14,188	0.2	92.1
0.1	75.3	6,631	0.1	98.5	3,276	0.1	49.4
0.0	112.5	8,777	0.1	273.8	10,912	0.1	124.3
100.0	101.5	6,702,806	100.0	101.5	6,732,323	100.0	100.4
87.5	104.3	5,914,110	88.2	102.3	5,897,043	87.6	99.7
5.6	102.6	398,175	5.9	108.5	305,253	4.5	76.7
2.0	103.5	148,401	2.2	112.8	166,215	2.5	112.0
15.8	106.8	1,074,301	16.0	102.8	1,107,786	16.5	103.1
2.6	191.1	123,831	1.8	71.2	74,358	1.1	60.0
1.6	98.3	111,148	1.7	105.7	107,244	1.6	96.5
1.6	82.1	104,949	1.6	101.0	131,318	2.0	125.1
57.8	103.3	3,932,951	58.7	103.0	3,981,529	59.1	101.2
0.5	59.4	20,354	0.3	58.6	23,340	0.3	114.7
12.5	97.2	783,414	11.7	95.5	798,659	11.8	101.9
12.0	95.4	761,638	11.4	96.5	782,886	11.6	102.8
0.5	188.4	21,776	0.3	70.4	15,773	0.2	72.4
0.0	3.3	5,282	0.1	131.5	36,621	0.6	693.3
0.0	皆増	—	—	皆減	—	—	—
—	—	—	—	—	24,267	0.4	皆増
0.0	72.1	4,740	0.1	145.1	4,288	0.1	90.5
0.0	0.6	542	0.0	74.9	8,066	0.1	1488.2
—	90.7	707,958	—	92.5	761,011	—	107.5
—	268.5	1,476,649	—	64.8	1,477,661	—	100.1

② 資本的収支年次表

年度および金額	令和元年度		令和2年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
収入合計	8,018,799	100.0	9,931,091	100.0	123.8	9,972,476
企業債	5,691,600	71.0	5,391,000	54.3	94.7	6,311,900
補助金	1,548,965	19.3	3,761,635	37.9	242.8	2,343,776
負担金	778,234	9.7	778,456	7.8	100.0	816,773
他会計からの長期借入金	-	-	-	-	-	500,000
固定資産売却代金	-	-	-	-	-	27
支出合計	12,178,441	100.0	9,522,091	100.0	78.2	14,289,675
建設改良費	8,561,177	70.3	5,935,848	62.3	69.3	9,995,529
企業債償還金	3,617,264	29.7	3,586,243	37.7	99.1	3,794,146
他会計からの 長期借入金償還金	-	-	-	-	-	500,000
前年度一時借入金(起債前借)	4,074,800		4,414,200		108.3	4,005,200
補てん財源	8,234,442	100.0	4,005,200	100.0	48.6	8,322,399
過年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額	-	-	-	-	-	104,000
当年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額	240,028	2.9	-	-	皆減	293,138
減債積立金	280,000	3.4	-	-	皆減	1,510,000
過年度分損益勘定留保資金	2,155,131	26.2	-	-	皆減	2,304,864
当年度分損益勘定留保資金	1,145,083	13.9	-	-	皆減	808,297
一時借入金(起債前借)	4,414,200	53.6	4,005,200	100.0	90.7	3,302,100

(消費税込み)

令和3年度		令和4年度			令和5年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	100.4	7,708,168	100.0	77.3	11,987,530	100.0	155.5
63.3	117.1	4,586,000	59.5	72.7	8,226,200	68.6	179.4
23.5	62.3	2,271,860	29.5	96.9	2,917,021	24.3	128.4
8.2	104.9	850,308	11.0	104.1	844,309	7.1	99.3
5.0	皆増	-	-	皆減	-	-	-
0.0	皆増	-	-	皆減	-	-	-
100.0	150.1	8,859,384	100.0	62.0	12,872,803	100.0	145.3
69.9	168.4	5,146,134	58.1	51.5	9,218,050	71.6	179.1
26.6	105.8	3,713,250	41.9	97.9	3,654,753	28.4	98.4
3.5	皆増	-	-	皆減	-	-	-
	90.7	3,302,100		82.4	3,693,316		111.8
100.0	207.8	4,453,316	100.0	53.5	4,578,589	100.0	102.8
1.3	皆増	-	-	皆減	175,627	3.8	皆増
3.5	皆増	-	-	皆減	287,230	6.3	皆増
18.1	皆増	760,000	17.1	50.3	700,000	15.3	92.1
27.7	皆増	-	-	皆減	2,689,894	58.7	皆増
9.7	皆増	-	-	皆減	725,838	15.9	皆増
39.7	82.4	3,693,316	82.9	111.8	-	-	皆減

③ 資産・負債・資本対比表

科目	令和元年度		令和2年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
資産合計	123,040,238	100.0	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667
資産の部	123,040,238	100.0	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667
固定資産	118,373,726	96.2	120,259,496	94.0	101.6	125,705,256
有形固定資産	118,373,726	96.2	120,259,496	94.0	101.6	125,705,256
土地	4,844,040	3.9	4,844,040	3.8	100.0	4,844,040
建物	5,022,021	4.1	4,814,970	3.8	95.9	4,608,874
構築物	99,370,834	80.8	100,586,059	78.6	101.2	104,753,069
機械及び装置	7,747,790	6.3	8,378,656	6.5	108.1	8,782,886
車両運搬具	79	0.0	79	0.0	100.0	277
工具器具及び備品	28,774	0.0	29,423	0.0	102.3	35,521
建設仮勘定	1,360,188	1.1	1,606,269	1.3	118.1	2,680,589
流動資産	4,666,512	3.8	7,662,020	6.0	164.2	6,621,411
現金及び預金	1,878,829	1.5	2,707,865	2.1	144.1	1,860,723
未収金	2,161,202	1.8	3,362,903	2.6	155.6	4,005,004
貸倒引当金	△ 19,456	△ 0.0	△ 18,279	△ 0.0	94.0	△ 15,896
貯蔵品	-	-	-	-	-	2,300
前払金	645,937	0.5	1,609,531	1.3	249.2	769,280
負債資本合計	123,040,238	100.0	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667
負債の部	110,570,541	89.9	114,607,927	89.6	103.7	118,248,011
固定負債	59,327,310	48.2	60,443,850	47.2	101.9	63,558,322
企業債	58,701,887	47.7	60,298,741	47.1	102.7	62,897,493
他会計借入金	500,000	0.4	-	-	皆減	500,000
引当金	125,423	0.1	145,109	0.1	115.7	160,829
流動負債	10,451,089	8.5	11,098,647	8.7	106.2	10,674,594
一時借入金	4,414,200	3.6	4,356,600	3.4	98.7	3,302,100
企業債	3,586,243	2.9	3,794,146	3.0	105.8	3,713,147
他会計借入金	-	-	500,000	0.4	皆増	-
未払金	2,397,570	2.0	2,387,412	1.9	99.6	3,592,456
引当金	33,402	0.0	32,750	0.0	98.0	32,092
その他流動負債	19,674	0.0	27,739	0.0	141.0	34,799
繰延収益	40,792,142	33.2	43,065,430	33.7	105.6	44,015,095
長期前受金	40,036,118	32.6	40,540,394	31.7	101.3	42,173,295
建設仮勘定長期前受金	756,024	0.6	2,525,036	2.0	334.0	1,841,800
資本の部	12,469,697	10.1	13,313,589	10.4	106.8	14,078,656
資本金	9,146,344	7.4	9,426,344	7.4	103.1	9,426,344
資本金	9,146,344	7.4	9,426,344	7.4	103.1	9,426,344
剰余金	3,323,353	2.7	3,887,245	3.0	117.0	4,652,312
資本剰余金	2,373,622	1.9	2,373,622	1.8	100.0	2,373,622
受贈財産評価額	516,874	0.4	516,874	0.4	100.0	516,874
国県市補助金	1,856,748	1.5	1,856,748	1.4	100.0	1,856,748
利益剰余金	949,731	0.8	1,513,623	1.2	159.4	2,278,690
減債積立金	-	-	665,000	0.5	皆増	-
当年度未処分利益剰余金	949,731	0.8	848,623	0.7	89.4	2,278,690

(消費税抜き)

令和3年度		令和4年度			令和5年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5	137,720,523	100.0	103.6
100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5	137,720,523	100.0	103.6
95.0	104.5	126,665,218	95.3	100.8	131,224,385	95.3	103.6
95.0	104.5	126,665,218	95.3	100.8	131,224,385	95.3	103.6
3.7	100.0	4,900,006	3.7	101.2	4,900,006	3.6	100.0
3.5	95.7	4,441,959	3.3	96.4	4,240,463	3.1	95.5
79.2	104.1	106,248,307	80.0	101.4	108,287,623	78.7	101.9
6.6	104.8	8,572,601	6.4	97.6	9,292,684	6.7	108.4
0.0	350.6	231	0.0	83.4	187	0.0	81.0
0.0	120.7	32,993	0.0	92.9	30,670	0.0	93.0
2.0	166.9	2,469,121	1.9	92.1	4,472,752	3.2	181.1
5.0	86.4	6,265,394	4.7	94.6	6,496,138	4.7	103.7
1.4	68.7	2,043,411	1.5	109.8	2,477,169	1.8	121.2
3.0	119.1	1,960,468	1.5	49.0	3,287,159	2.4	167.7
0.0	87.0	△ 15,987	0.0	100.6	△ 14,467	0.0	90.5
0.0	皆増	2,630	0.0	114.3	1,675	0.0	63.7
0.6	47.8	2,274,872	1.7	295.7	744,602	0.5	32.7
100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5	137,720,523	100.0	103.6
89.4	103.2	118,143,997	88.9	99.9	122,172,896	88.7	103.4
48.1	105.2	64,512,873	48.6	101.5	69,085,268	50.2	107.1
47.6	104.3	63,828,544	48.1	101.5	68,372,247	49.6	107.1
0.4	皆増	500,000	0.4	100.0	500,000	0.4	100.0
0.1	110.8	184,329	0.1	114.6	213,021	0.2	115.6
8.0	96.2	8,740,891	6.5	81.9	6,803,080	4.9	77.8
2.5	75.8	3,747,100	2.8	113.5	-	-	皆減
2.8	97.9	3,654,846	2.7	98.4	3,682,590	2.7	100.8
-	皆減	-	-	-	-	-	-
2.7	150.5	1,278,767	1.0	35.6	3,058,706	2.2	239.2
0.0	98.0	31,036	0.0	96.7	32,932	0.0	106.1
0.0	125.5	29,142	0.0	83.7	28,852	0.0	99.0
33.3	102.2	44,890,233	33.8	102.0	46,284,548	33.6	103.1
31.9	104.0	42,685,014	32.1	101.2	43,433,708	31.5	101.8
1.4	72.9	2,205,219	1.7	119.7	2,850,840	2.1	129.3
10.6	105.7	14,786,615	11.1	105.0	15,547,627	11.3	105.1
7.1	100.0	10,936,344	8.2	116.0	11,696,344	8.5	106.9
7.1	100.0	10,936,344	8.2	116.0	11,696,344	8.5	106.9
3.5	119.7	3,850,271	2.9	82.8	3,851,283	2.8	100.0
1.8	100.0	2,373,622	1.8	100.0	2,373,622	1.7	100.0
0.4	100.0	516,874	0.4	100.0	516,874	0.4	100.0
1.4	100.0	1,856,748	1.4	100.0	1,856,748	1.3	100.0
1.7	150.5	1,476,649	1.1	64.8	1,477,661	1.1	100.1
-	皆減	-	-	-	-	-	-
1.7	268.5	1,476,649	1.1	64.8	1,477,661	1.1	100.1

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

① 1 m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表

区分	年度	令和元年度			令和2年度		
有収水量		23,606,196 m ³			23,983,228 m ³		
使用料単価	下水道使用料	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り(円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り(円)
		4,228,584	100.0	179.13	4,230,931	100.0	176.41
汚水処理原価	管渠費	507,300	11.9	21.49	352,998	8.3	14.72
	ポンプ場費	112,447	2.7	4.76	119,149	2.8	4.97
	処理場費	925,865	21.8	39.22	948,966	22.5	39.57
	その他維持管理費	228,384	5.4	9.67	234,823	5.6	9.79
	支払利息等	709,486	16.7	30.06	698,474	16.5	29.12
	減価償却費	1,764,775	41.5	74.76	1,871,084	44.3	78.02
	計	4,248,257	100.0	179.96	4,225,494	100.0	176.19
	(参考)分流式下水道に要する経費控除前	4,723,371	-	200.09	4,645,684	-	193.71
料単価/汚水処理原価		0.995			1.001		

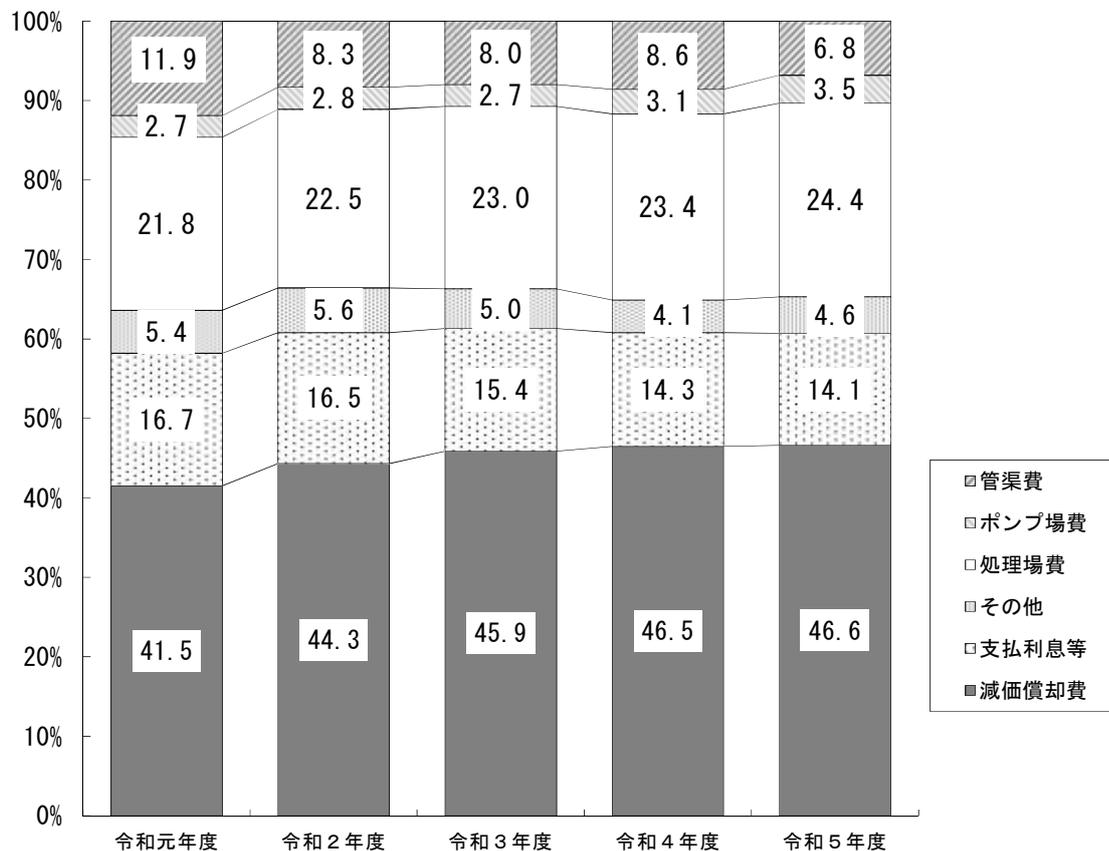
※1 m³当たり使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

※1 m³当たり汚水処理原価＝〔経常費用－(雨水処理経費)〕÷有収水量

※減価償却費は、長期前受金戻入額を控除した額を計上

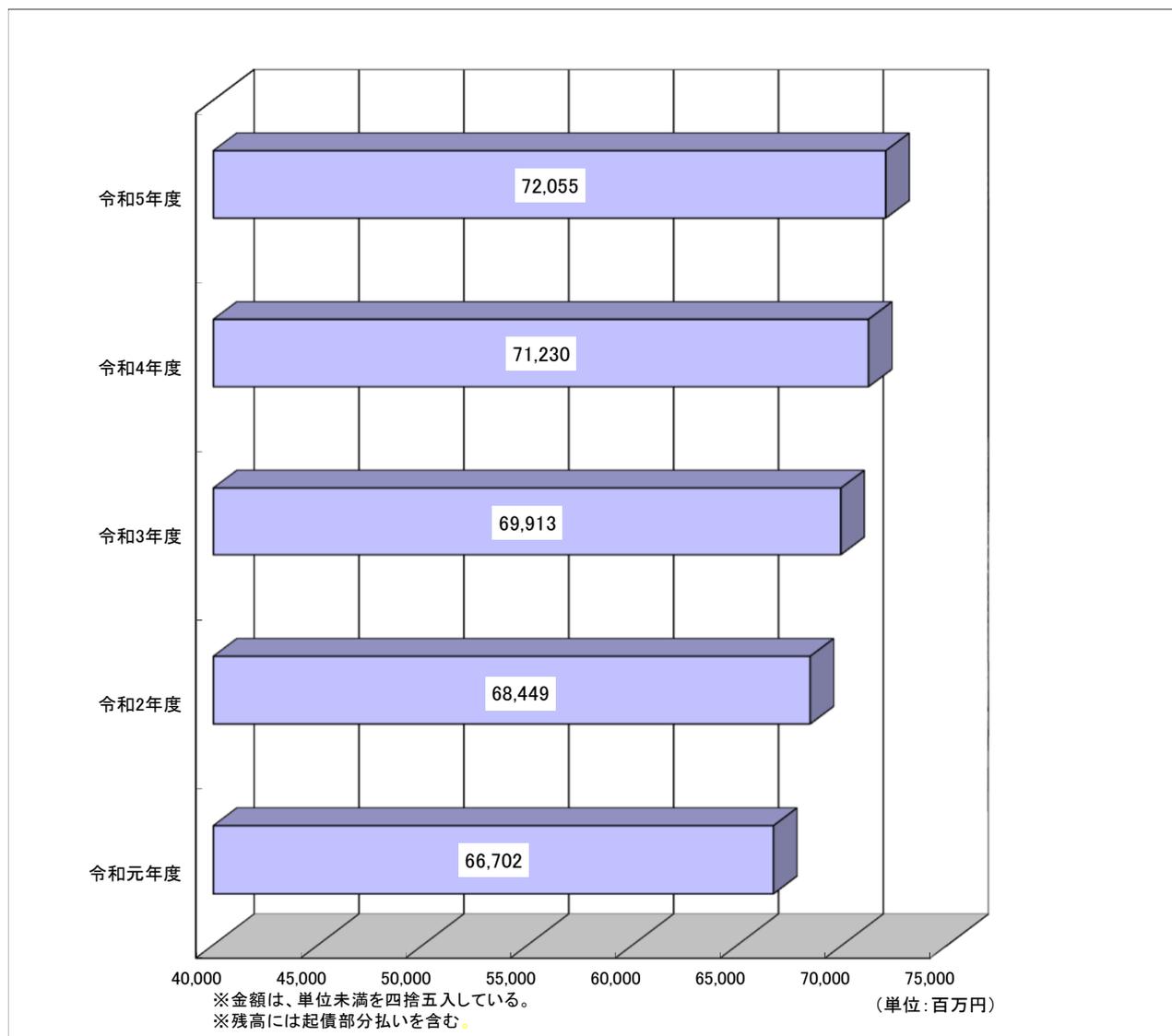
※分流式下水道に要する経費は、実績入額を控除

② 汚水処理原価構成表



令和3年度			令和4年度			令和5年度		
24,042,195 m ³			23,944,630 m ³			24,067,522 m ³		
金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)
4,258,522	100.0	177.13	4,256,984	100.0	177.78	4,289,577	100.0	178.23
355,081	8.0	14.77	390,236	8.6	16.30	302,008	6.8	12.55
120,501	2.7	5.01	137,910	3.1	5.76	156,313	3.5	6.49
1,017,260	23.0	42.31	1,049,614	23.4	43.84	1,082,953	24.4	45.00
218,572	5.0	9.09	181,929	4.1	7.60	205,737	4.6	8.55
683,310	15.4	28.42	642,231	14.3	26.82	626,905	14.1	26.05
2,034,180	45.9	84.61	2,086,784	46.5	87.15	2,070,395	46.6	86.02
4,428,904	100.0	184.21	4,488,704	100.0	187.47	4,444,311	100.0	184.66
4,796,886	-	199.52	4,883,057	-	203.93	4,890,807	-	203.21
0.962			0.948			0.965		

(3) 企業債借入残高状況



(4) 経営分析表

本市の下水道事業会計では、公共下水道(主に久留米、北野、三潞地区)と特定環境保全公共下水道(主に田主丸、城島地区)という二つの事業を実施してきましたが、令和2年3月11日の下水道法事業計画の変更協議をもって、事業計画を変更し、市内全域が公共下水道となっています。

ここでは、公共下水道事業における主な指標を法適用の類似団体平均、全国平均とあわせて掲載しています。

なお、統計の都合上、本市の指標は令和5年度、類似団体平均及び全国平均は令和4年度のものであります。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R4年度)			
	R3年度	R4年度	R5年度	類似団体	全国平均		
下水道普及率(%)						行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の整備状況を表すものである。	普及率は年々微増している。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
$\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}}$	86.85	87.60	88.08	81.33	81.05		
進捗率(%)						全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、全体計画に対する進捗状況を表すものである。	類似団体や全国平均より低い数値となっているが、年々微増している。
$\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{全体計画人口}}$	92.81	93.46	93.63	99.09	96.97		
処理区域内人口密度(人/ha)						処理区域面積1haあたりの人口を表したものである。	行政区域内人口の減少や人口密度の低い地域の未普及整備等により、すう勢比較としては微減している。類似団体より高く、全国平均より低い数値となっている。
$\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{現在処理区域面積}}$	48.14	47.88	47.61	42.12	61.53		
施設利用率(%)						現在晴天時平均処理水量を現在処理能力(晴天時)で除したもので、施設がどの程度利用されているのかを示す。	すう勢比較としては減少傾向にある。類似団体や全国平均より低い数値となっている。
$\frac{\text{現在晴天時平均処理水量}(m^3/日)}{\text{現在処理能力}(晴天時)(m^3/日)}$	61.27	60.12	59.93	65.44	61.12		
有収率(%)						処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合である。有収率が高いほど、使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、効率的であるといえる。	有収水量が前年度より増えたものの、汚水処理水量が増加したことから前年度よりも下がっている。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}}$	83.97	88.68	86.07	78.41	81.16		
水洗化率(%)						現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。	処理区域内人口の増加が水洗便所設置済人口の増加と同程度であったため、前年度とほぼ同じ値となっている。類似団体や全国平均より低い数値となっている。
$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}}$	87.81	87.84	87.94	94.58	96.02		

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R4年度)			
	R3年度	R4年度	R5年度	類似団体	全国平均		
使用料単価(円/㎡) 使用料収入 年間有収水量	177.13	177.78	178.23	159.12	134.37	有収水量1㎡あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。	すう勢比較としては有収率と連動した動きになっており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
汚水処理原価(円) 汚水処理費 年間有収水量	177.73	178.69	180.20	159.59	136.77	有収水量1㎡あたりの汚水処理費であり、その水準を示す。汚水処理費は、維持管理費と資本費に分けられる。維持管理費は、日常の下水道施設の維持管理に要する経費であり、具体的には、人件費、動力費、薬品費、施設補修費、管渠清掃費等によって構成される。資本費は、減価償却費、企業債利息(一時借入金利息は除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額である。	すう勢比較としては汚水処理原価は微増している。年間有収水量が前年比で微増した中、汚水処理費(維持管理費)は減少しているものの、汚水処理費(資本費)が増加したことが要因となっている。汚水処理費(維持管理費)は類似団体や全国平均より低くなっているが、汚水処理費(資本費)は類似団体や全国平均より高い水準となっている。
汚水処理原価(維持管理費)(円/㎡) 汚水処理費(維持管理費) 年間有収水量	71.18	73.49	72.59	81.29	75.72		
汚水処理原価(資本費)(円/㎡) 汚水処理費(資本費) 年間有収水量	106.55	105.20	107.61	78.30	61.05		
経費回収率(%) 使用料収入 汚水処理費	99.66	99.49	98.91	99.71	98.24	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によってまかなうことが原則とされている。よって経費回収率は、下水道事業の経営を最も端的に表している指標といえる。	経費回収率の指標値がわずかに100を下回り、使用料収入で汚水処理費を賄っていない状況が続いている。経費回収率(維持管理費)は、前年度比で若干増加しており、類似団体や全国平均より、高い水準にある。
経費回収率(維持管理費)(%) 使用料収入 汚水処理費(維持管理費)	248.83	241.92	245.54	195.74	177.45		
処理人口1人あたりの維持管理費(汚水分)(円/人) 維持管理費(汚水分) 現在処理区域内人口	6,523	6,660	6,600	8,485	8,079	現在処理区域内人口1人あたりにかかる維持管理費であり、効率的な維持管理の状況を見るものである。維持管理費には、管渠、ポンプ場、処理場及びその他の費用全てが含まれる。	令和4年度に比べてわずかに減少している。類似団体や全国平均より低い数値となっている。
処理人口1人あたりの資本費(汚水分)(円/人) 資本費(汚水分) 現在処理区域内人口	9,763	9,534	9,785	8,173	6,514	現在処理区域内人口1人あたりにかかっている資本費である。なお、この場合の資本費とは、減価償却費と企業債利息等である。	未普及整備の進捗に伴って減価償却費が増加していることから微増している。類似団体や全国平均より高い水準となっている。
処理人口1人あたりの管理運営費(汚水分)(円/人) 管理運営費(汚水分) 現在処理区域内人口	16,286	16,193	16,385	16,658	14,593	現在処理区域内人口1人あたりにかかる管理運営費である。この場合の管理運営費とは、維持管理費と資本費を合計したものである。	すう勢比較としては同程度の値を推移しているが、前年度比で微増である。類似団体とは同水準であるが、全国平均より高い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R4年度)			
	R3年度	R4年度	R5年度	類似団体	全国平均		
総収支比率(%)						総収益と総費用の比率を表したものである。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要である。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
総収益	111.59	110.56	111.30	108.66	106.28		
総費用							
経常収支比率(%)						使用料収入等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示すものである。比率が高いほど良い。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
経常収益	111.50	110.42	111.70	108.33	106.11		
経常費用							
流動比率(%)						短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。一般的に100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを意味する。	下水道事業は、建設投資の財源の多くを企業債によって調達しており、流動負債における企業債償還金の額が大きく、比率は低くなる傾向にある。類似団体や全国平均より高い水準となっている。
流動資産	89.81	125.46	95.49	65.51	73.43		
流動負債							
利子負担率(%)						有利子の負債に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。	すう勢比較では変動が少なく、前年度と同じ値となっている。類似団体や全国平均よりも低い数値である。
支払利息+企業債取扱諸費	1.12	1.04	1.10	1.34	1.26		
企業債+長期借入金+一時借入金							
自己資本構成比率(%)						総資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。	前年度と同じ値となっている。類似団体や全国平均よりも低い数値となっている。
自己資本金+剰余金	43.90	44.89	44.90	60.07	63.69		
+評価差額等+繰延収益							
負債+資本合計							
固定資産対長期資本比率(%)						自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。	前年度よりわずかに減少している。類似団体や全国平均を下回っている。
固定資産	103.33	101.99	100.23	101.54	101.19		
固定負債+資本金+剰余金							
+評価差額等+繰延収益							
処理区域内人口1人あたりの企業債現在高(千円/人)						企業債現在高を処理区域内人口で除したものである。	未普及地域の整備や既存設備等の更新、浸水対策などを進めており、企業債残高は増加傾向となっている。類似他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高	266	270	272	207	175		
現在処理区域内人口							
企業債残高対事業規模比率(%)						使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	未普及地域の整備や既存設備等の更新、浸水対策などを進めており、企業債残高は増加傾向にあり、比率も増加している。類似他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高-一般会計負担額	1,151.75	1,160.09	1,191.11	827.43	649.89		
営業収益-受託工事収益							
-雨水処理負担金							

※この表における類似団体は、以下をすべて満たすものである
(公共下水道)

- ・地方公営企業法適用団体
- ・処理区域内人口10万人以上
- ・処理区域内人口密度が1haあたり50人未満

(5) キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	761,011
減価償却費	3,981,529
退職給付引当金の増加額	28,692
賞与引当金の増加額	1,896
貸倒引当金の減少額	△ 1,520
長期前受金戻入額	△ 2,212,787
支払利息及び企業債取扱諸費	782,886
固定資産除却費	14,164
過年度損益修正損	557
災害による損失	5,568
減損損失	24,267
未収金の増加額	△ 273,997
貯蔵品の減少額	955
未払金の減少額	△ 136,719
預り金の減少額	△ 289
小計	2,976,213
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 736,682
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,239,531
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 5,350,093
国庫補助金等による収入	1,892,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,457,616
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	2,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 2,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,324,500
その他の企業債による収入	154,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,899,933
その他の企業債の償還による支出	△ 412,574
他会計からの繰入による収入	485,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,651,843
資金増加額(又は減少額)	433,758
資金期首残高	2,043,411
資金期末残高	2,477,169

キャッシュ・フロー計算書について

キャッシュ・フロー計算書とは、企業の資金の流れを表示する財務諸表です。企業が営業活動で、どれだけ現金を稼ぎ出し、施設整備への投資や借入金の返済にどれだけ現金を使っているかを示すもので、「業務活動」、「投資活動」、「財務活動」の3つに区分しています。

キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、3つの区分があります。

1 「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどのくらい資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

2 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

3 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

令和5年度キャッシュ・フローについて

【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益761,011千円、損益勘定留保資金である減価償却費3,981,529千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入の発生額2,212,787千円、利息の支払額736,682千円が資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは2,239,531千円となっています。

【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る補助金等の収入1,892,477千円が資金の増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出5,350,093千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△3,457,616千円となっています。

【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債の借入れ4,479,100千円が資金の主な増加要因であり、企業債の償還3,312,507千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは1,651,843千円となっています。

以上により、令和5年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は433,758千円のプラスとなりました。